

2019年11月22日

内外装材の製造に係わる継続的な資源循環システムが
「令和元年度 資源循環技術・システム表彰」において
一般社団法人産業環境管理協会会長賞を受賞

このたび、ケイミュー株式会社は、一般社団法人産業環境管理協会が主催する「令和元年度 資源循環技術・システム表彰」において一般社団法人産業環境管理協会会長賞を受賞しました。

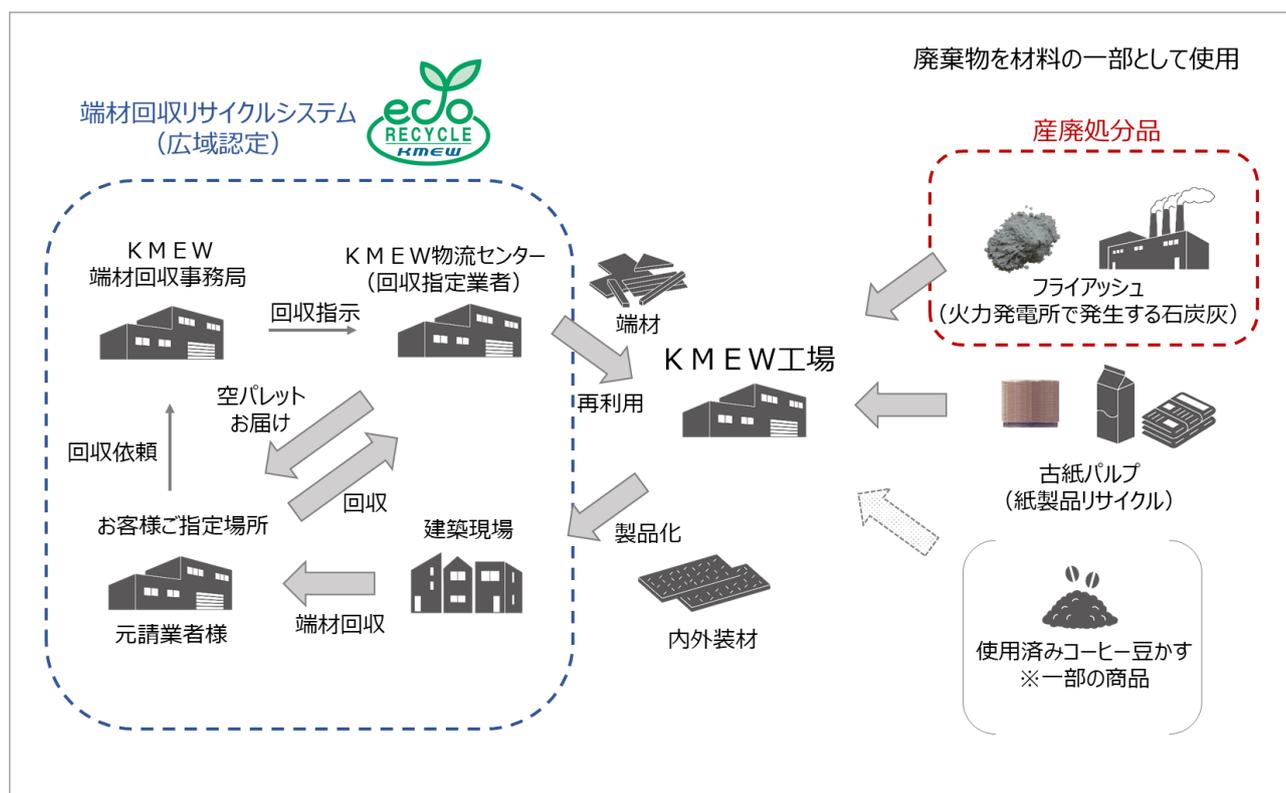
「資源循環技術・システム表彰」は、経済産業省の後援を受けて、高度な技術、先進的なシステムにより、廃棄物の発生抑制、使用済み物品の再使用、再生資源の有効利用に寄与するなどの経済合理性のある効率的な資源循環を促進する事業を顕彰する表彰です。昭和50年に「再資源化貢献企業」の名称でスタートし、リサイクルや環境保全の表彰制度としては長い歴史を持つ表彰の一つで、令和元年度で45回目です。

今回受賞した「内外装材の製造に係る継続的な資源循環システムの構築」は、継続的なリサイクルと環境負荷低減を実現し、経済合理性の高い効率的な資源循環に貢献する取り組みとして評価されました。

ケイミューは、今後も持続可能な社会に貢献できるよう、リサイクルや廃材の削減等の環境に配慮した取り組みを続けてまいります。

リサイクルシステム

- ・産業廃棄物、自社製品端材などのリサイクル材を材料の一部として利用
- ・自社製品の端材回収リサイクルシステムの構築



受賞システムの概要

「内外装材の製造に係る継続的な資源循環システム」は、循環型のモノづくりシステムです。

当社では、リサイクル材を原料の一部に配合して窯業系内外装材を製造し、さらにその製品が現場施工される際に発生する端材についても自社システムで回収し、再利用する仕組みを構築しました。このシステムにより継続的なリサイクルと環境負荷低減を実現しています。

原料の一部として配合しているリサイクル材とは、火力発電所から産業廃棄物として出される石炭灰の「フライアッシュ」や、新築現場で発生する「自社建材の端材」、古紙パルプおよびコーヒーショップから出る使用済みの豆かす(一部の商品で使用)等を指します。

フライアッシュは震災後の火力発電所の稼働率増により排出が増えていますが、利用されなければ産業廃棄物として埋立て処分が必要となります。当社では、主原料のセメントに一部配合しても製品品質を担保できるよう配合設計し、活用しています。

また当社の窯業系内外装材は、その多くが施工される際に建物や開口部の形状やサイズに合わせて現場でカットされます。そのとき切断端材が多数発生しますが、この端材は再利用が難しいため、通常は産業廃棄物として処理されます。当社は、メーカーの責務としてこれらを全国の施工現場から回収する仕組みを構築しました。また粉砕することで原料として最大限に再利用する技術開発を行い、活用しています。

窯業系内外装材の製造工程の例 (リサイクル材の混合～プレス工程)

原料
(セメントおよび
フライアッシュ等のリサイクル材)

